

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 297

■ 「ものづくり中小企業向け固有技術探索活動」説明会

会員企業の皆様が次世代自動車に対応するためには、自社の「固有技術・技能」を認識し、活用し、更にレベルアップを図るとともに、次世代自動車搭載部品の開発や生産性向上、品質改善などの現場改善に取り組むことにより「提案力向上」を目指して次世代自動車のビジネスを獲得することが重要です。

次世代自動車センター浜松は、今年度も「ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座」を開催するにあたり、その前段階として、当センターの望月センター長を講師として、固有技術探索活動の取組みと探索チャート作成の流れなどについての説明や、基礎講座の日程を紹介する説明会を Web 形式で開催しました。

■ 日 時 : 2025年5月12日(月) 13時30分～14時40分

■ 場 所 : Web形式

■ 参加者 : 8社/14名

固有技術探索基礎講座

説明会
「ものづくり中小企業向け固有技術探索活動」

令和 7年 5月 12日(月)

(公財) 浜松地域イノベーション推進機構
次世代自動車センター浜松



5 「固有技術探索活動の概要《保有技術と固有技術》」

保有技術と固有技術

- 「保有技術」とは、
会社が持っている技術
- 「固有技術」とは、
「保有技術」の中の「強みの技術」
- 「固有技術」の見える化の
コンセプト
「保有技術」を棚卸して
「固有技術」を探し出す

図: 保有技術の山と固有技術の頂点

24 「固有技術探索チャート」への落とし込み《固有技術探索チャート作成の流れ》

ものづくり中小企業向け固有技術探索チャート作成の流れ

1. 固有技術探索チャート情報調査票を用いた調査

2. 固有技術探索チャートの作成

28 「固有技術探索チャート」への落とし込み

ものづくり中小企業向け固有技術探索チャートへの落とし込み

企業名: ODA 工業製造会社

作成日: ODA ODA ODA

プロセス

「固有技術探索環境」

「製造設備技術」

「製造準備技術」

「製造」

「検査」

製品名: 代表製品名

製造部品名: (1) 部品A (2) 部品B

製造部品名

保有技術・技能 (強みのある固有技術・技能)

45 「固有技術探索チャート」の活用方法《技術伝承と人材育成》

活用方法 その1 (技術伝承と人材育成)

(1) 背景

- ・ 次世代自動車の時代に生き残るためには、自社の技術伝承や人材育成を実施する必要がある。

(2) 活用方法

- ・ 「ものづくり中小企業向け固有技術探索チャート」を作成し、自社が持っている固有技術や固有技能とそれに関わる担当者を明確にして、技術の伝承や人材の育成を進める。

【参加者の声】

- ・ 自社の「保有技術」「固有技術」の考え方と洗い出し方が学べた。
- ・ 固有技術探索の重要性と、どのように進めていけばいいかの概要をわかりやすく解説していただいた。
- ・ 固有技術とは何か、保有技術との違いをご説明いただき、参考になった。
- ・ 固有技術探索活動という概念すら知らなかったので、今回の研修で内容を理解することができ、参考になった。小規模事業者が生き残っていくために、自社の技術の棚卸しをし、その中から強みとなる固有技術を探すことの必要性も、強く感じる事ができた。
- ・ 固有技術探索チャートについて初めて知った。企業が持つ強み・弱みを明確にすることが重要だと理解した。評価指標を用いた見える化が参考になりそうだ。
- ・ 「保有技術」を棚卸しして「固有技術」を探し出すことに感銘した。
- ・ 固有技術探索チャートの活用方法に技術伝承と人材育成、次世代自動車ビジネスの獲得、BCPの策定がある点が参考になった。
- ・ 会社の方針でも新たな商権獲得のチャレンジがあるが、思い付きでなく自社の固有技術が見える化により新たなビジネスの獲得に繋がる手法があることが理解できた。
- ・ 技術や技能の強みや弱みの見える化が必要なことが良くわかった。
- ・ 保有技術を棚卸しする方法に関して、どのように項目を細分化し調査していくべきかという点が参考になった。
- ・ 理解しやすく説明いただいた。実際に実施するのは難しいと感じた。会社の経営層研修に取り入れ、自社の強みを広い視点で検討すれば、新たなビジネスの取り組みも具体的にになると感じた。
- ・ 今後の進め方や記入シートもあり大変わかりやすかった。
- ・ 非常にわかりやすい説明で、パワーポイントの資料も参考になった。